

陸上競技（短距離）プログラム報告 2014年3月22日（土）中村 泰雄

前回のプログラムでは染井吉野は未だ蕾のままでした。東京では、最初、三月二十五日に開花し、満開は四月二日と云う予想が出ていましたが、その後の低温で開花予想は二十八日に修正されました。此処福祉村では東京に三日遅れるのが常ですので、今回のプログ（四月十二日）は散った後、と云う事になりそうです。でもこの時期、桜を無視する分けには行きません。そこで一捻り。桜は桜でも早咲きの桜で行く事にしました。

最初に配布プリントですが、寒桜を始めとして早咲きの桜を五種集めてみました。中に一種、福祉村のジョギングコース沿いで咲いている桜を入れておいたのがミソです。更にプリントの最下段には大寒桜（別名安行寒桜）を載せました。主任（とり）と云うわけです・WWW

早咲きの桜はウォーキングのスタート地点から反時計回り（順行）で600メートル先、咲かない藤棚（？）の50メートル手前で咲いています。

例に因って私はウォーキングのスタートを見送ってから自転車でジョギングコースを逆行して現場に向かいました。これで十分間に合うと思ったのですが、とんだ計算違い。私が現場に着くのとSS君が走って現場を通過するのが同時でした。最近ではアスリートの足も速くなっているのです（なんて苦しい言い訳）

すぐ後から大阪PCを先頭に本隊がやって来ました。そこで名札も何もついていない早咲きの桜を見てもらって、この桜が唐津桜と考えられる理由（花に先立って葉が出ることや赤味の勝った花色など）を簡単に説明して再スタートしてもらいました。既に花のピークは過ぎていたのでアスリートやファミリーの反応が心配でしたが、結構興味を持って楽しんでもらいました。やっぱり桜は桜ですね。

じゅおーキングの後は2000Mを走り、その後で種目別に分かれ、短距離陣（と言っても今日の参加者は大阪PCだけでしたが）は元気館とレンタサイクルを結ぶショートカットコースで、つま先走りのスタートダッシュから踵着地の中間疾走（大阪PCには末次慎吾張りの中間疾走を指導しています）に移るタイミングを再確認しながらクラウチングスタートの練習をしてもらい、十一時三十分